

平成27年第2回
掛川市・袋井市病院企業団議会議定例会
会議録

掛川市・袋井市病院企業団

平成27年第2回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会
付議事件及び審議結果

○提出議案

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日	議決内容
認 第1号	平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院 事業会計決算の認定について	27.8.24	27.8.24	認定
報告第1号	掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資 金不足比率の報告について	〃	—	—
議案第3号	平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院 事業会計補正予算（第1号）について	〃	27.8.24	原案可決

平成27年第2回 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会会議録

○議事日程 平成27年8月24日(月) 午後3時50分 開会

日程第1 議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 副議長選挙の件

日程追加 議長辞職の件

日程追加 議長選挙の件

日程第5 認 第1号 平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算の認定について

日程第6 報告第1号 掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告について

日程第7 議案第3号 平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)について

○本日の会議に付した事件 議事日程に上げた事件と同じ

○出席議員(10名)

1番 竹 嶋 善 彦

2番 山 崎 恒 男

3番 草 賀 章 吉

4番 大 石 與志登

5番 堀 内 武 治

6番 寺 田 守

7番 鈴 木 弘 睦

8番 高 木 清 隆

9番 戸 塚 文 彦

10番 大 庭 通 嘉

○説明のため出席した者

監査委員	横山茂明	監査委員	原田達功
企業長	名倉英一		
副院長	蟹本雄右	副院長	山本洋子
副院長	市橋鋭一	副院長	若井正一
副院長兼看護部長	八木純		
経営管理部長	久永豊彦	経営管理部参与	川隅庄一
経営戦略室長	石野敏也	管理課長	岩井政昭
管理課参事	山崎浩	医事課長	杉山三起也
人間ドック・健診センター管理室長	城内優		

議 事

午後 3 時 5 0 分 開会

○議長（大石與志登） 本日の出席議員は、10名であります。所定の定足数に達しておりますので、これより、平成27年第2回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を開会いたします。

○議長（大石與志登） なお、議事日程につきましては、議長において作成し、お手元に配布いたしております。これより会議を開きます。

○議長（大石與志登） 日程第1、議席の指定を行います。

議席は、議長において、ただいまご着席の議席を指定いたします。

○議長（大石與志登） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、5番堀内武治君、7番鈴木弘睦君を指名いたします。

○議長（大石與志登） 日程第3、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は、本日1日限りといたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日限りと決定いたしました。

○議長（大石與志登） 日程第4、副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって選挙の方法は、指名推選によることに決定いたしました。

なお、お諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することといたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。それでは、副議長に高木清隆君を指名いたします。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（大石與志登） ご異議なしと認めます。よって、副議長に高木清隆君が当選されました。

ただいま副議長に当選されました、高木清隆君から、就任のごあいさつを自席にてお願いいたします。

○副議長（高木清隆） 副議長就任に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

ただ今は、議員の皆様のご推挙をいただきまして、企業団議会の副議長に就くことになりました。大変光栄であるとともに、やはり地域医療の中核病院の運営を担うということで、大変責任の重さを感じているところでございます。今後につきましては、副議長として議長を補佐しながら、誠心誠意頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○議長（大石與志登） ありがとうございました。

この際、暫時休憩いたします。

午後 3 時 5 3 分 休憩

午後 3 時 5 4 分 開議

○副議長（高木清隆） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○副議長（高木清隆） ただいま、議長大石與志登君から、議長の辞職願いが提出されました。

この際、議長辞職の件を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。よって、議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに決しました。

○副議長（高木清隆） 日程追加、議長辞職の件を議題といたします。

地方自治法第117条の規定により、大石與志登君の退席を求めます。

【4番 大石與志登君 退席】

○副議長（高木清隆） お諮りいたします。大石與志登君の議長辞職を許可することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。よって、大石與志登君の議長辞職を許可することに決しました。

大石與志登君の入場を求めます。

【4番 大石與志登君 入場】

○副議長（高木清隆） ただいま議長が欠員となりました。

お諮りいたします。この際、議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これにご異議ございませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。よって、議長選挙の件を日程に追加することに決しました。

○副議長（高木清隆） 日程追加、これより議長の選挙を行います。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法は、指名推選によることに決定いたしました。

なお、お諮りいたします。指名の方法は、副議長において指名することといたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。それでは、議長に竹嶋善彦君を指名いたします。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○副議長（高木清隆） ご異議なしと認めます。よって、議長に竹嶋善彦君が当選されました。

ただいま議長に当選されました、竹嶋善彦君から、就任のごあいさつを自席にてお願いいたします。

○議長（竹嶋善彦） ただいま、議長に就任いたしまして、一言ごあいさつを申し上げたいと思えます。

企業団の議長として、大変重責に思っております。この2年間、3年間の業績を見ますとなお

一層、この議会の意義と言いますか、そうしたものもしっかり位置づけてやっていかななくてはいけないと思っております。これには、議員の皆様方はもとより、企業長をはじめ当局の皆様のご支援をいただきながら、円滑な議会運営を進めていきたいと思っております。就任にあたり、ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○副議長（高木清隆）　ありがとうございました。それでは、以降の進行は竹嶋議長にお願いしたいと思えます。よろしく申し上げます。

○議長（竹嶋善彦）　それでは、議事を継続いたします。

○議長（竹嶋善彦）　日程第5、認第1号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一）　ただいま上程されました、認第1号、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算について、ご説明申し上げます。

平成25年5月の開院からおよそ2年が経過し、中東遠地域の基幹病院として、また、質の高い医療を提供すべく取り組んでまいりました。平成26年度は、4月当初から完全稼働となり、医師、看護師等のスタッフの確保も進み、安定した患者の受け入れが可能となりました。厚生労働省が定めるDPC対象病院における診療実績を評価した機能評価係数Ⅱについては、県下トップになるなど、質の面においても高い評価をいただいております。

経営面につきましては、診療報酬が2か月遅れで収入される等、厳しい財政事情の中、収益確保や経費節減等に努め、健全経営を目指してまいりました。その結果、病院事業収益は、146億7,506万円、病院事業費用は、155億8,217万円で、差引9億711万円の2年連続の純損失となりました。消費税率のアップや病院建設に係る借入金の返済等、当分の間、病院経営にとり厳しい状況が続きますが、今後も職員一丸となり、引き続き健全経営に努め、地域の医療水準の維持に最善を尽くしてまいります。

以上、認第1号の提案理由説明とさせていただきます。詳細につきましては、経営管理部長から補足説明させていただきますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦）　次に、補足説明を求めます。久永経営管理部長。

○経営管理部長（久永豊彦） それでは私からは、認第1号、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算につきまして、補足説明をさせていただきます。

お手元の決算書の9ページをお開き願います。最初に総括事項につきまして、ご説明をさせていただきます。平成26年度につきましては、平成25年5月の開院から2回目の決算を迎えるものでございまして、初めて12か月通年稼働に基づきます決算となったものでございます。医師、看護師等の確保も順調に進みましたことから、安定して患者を受け入れることが可能な状況となっております。救急医療体制をより充実させるため、救命救急センターの指定に向けまして整備を進め、本年8月1日に無事指定を受けることができております。中東遠地域の基幹病院としての機能を十分発揮できる体制を整え、より質の高い医療を提供するため、日々改善に取り組んでまいりました。1日あたりの患者数につきましては、入院が425人、外来が1,262人でした。なお、平均在院日数につきましては、10日となっております。収支の関係につきましては、純損失は9億700万円余を計上したわけですが、前年より2億円余の改善となっております。なお、前年との収支状況を比較いたしますと、赤字決算ではございましたけれども、医業収支は、10億7,000万円余、経常収支につきましても3億7,000万円余の改善をいたしております。赤字の主な要因につきましては、開院時に整備をいたしました医療機器などの減価償却費が多額であること、開院2年目の特殊要因といたしましては、1年間の保証期間が満了したことから、保守関係の業務委託料が増加したことなどによるものでございます。建設改良関係につきましては、救命救急センター改修実施設計業務委託を実施いたしてございます。また、資産購入につきましては、安定的に高度な医療を提供するため、眼科の手術顕微鏡や、放射線科の電気生理学的検査システム等を整備いたしております。以上が平成26年度事業の主な概要でございます。今後につきましても、地域住民に愛され、信頼される病院を目指しまして、一層の努力をいたしてまいります。

続きまして、決算報告書に基づきまして、内容のご説明をさせていただきます。恐れ入りますが、お戻りいただきまして1ページ、2ページをお開きいただきたいと思います。決算額につきましては、備考欄に記載をいたしてございますとおり、仮受消費税、仮払消費税及び地方消費税を含んだ金額となっておりますので、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。(1)の収益的収入及び支出につきまして申し上げます。まずは収入でございますけれども、第1款病院事業収益は、決算額147億3,395万円余となりまして、予算額に比べ1億4,153万円余の増となっております。内訳につきましては、第1項医業収益は、決算額が137億1,441万円余、予算額に比べ3,365万円余

の増となっております。第2項医業外収益につきましては、決算額10億1,953万円余でございます。予算額に比べ1億788万円余の増であります。なお、第3項特別利益につきましては、収入はございません。

次に支出の関係でございます。第1款病院事業費用は、決算額156億3,090万円余でございます。2億1,460万円余が不用額となっております。内訳につきましては、第1項医業費用の決算額は、149億4,911万円余でございます。1億8,953万円余が不用額でございます。第2項医業外費用につきましては、決算額5億8,377万円余でございます。2,006万円余が不用額となっております。第3項特別損失につきましては、決算額9,801万円余でございます。第4項予備費につきましては、執行はございません。

続きまして、3ページ、4ページをお願いいたします。(2)資本的収入及び支出でございます。まず、収入についてでございますけれども、第1款資本的収入は、決算額9億153万円7,000円でございます。予算額と比べますと1億3,765万8,000円の減となっております。内訳につきましては、第1項企業債は、決算額1億5,700万円で、予算額比4,300万円の減でございます。第2項出資金につきましては、決算額7億4,424万9,000円でございます。予算額との差額分につきましては、収益的収入の医業外収入の差でございます。第3項の貸付資金返還金につきましては、予算額、決算額、同額の28万8,000円となったものでございます。

次に、支出でございます。第1款資本的支出につきましては、決算額15億3,814万円余でございます。1億308万円余が不用額となったものでございます。内訳につきましては、第1項の建設改良費が、決算額2億8,089万円余でございます。1億74万円余を不用額としたものでございます。第2項企業債償還金につきましては、決算額11億9,577万円余でございます。第3項の投資につきましては、決算額6,147万円で、234万円が不用額となったものでございます。なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額につきましては、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんをいたしてございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。損益計算書でございます。なお、この損益計算書につきましては消費税抜きで表示されておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。まず、1の医業収益でございますけれども、主なものは、入院収益及び外来収益でございます。合計は136億5,965万円余となっております。2の医業費用につきましては、給与費が主なもので、固定費といたしましては減価償却費がございますけれども、総額では147億7,179万円余となっております。医業収支の関係につきましては、11億1,214万円余の医業損失を計上したところでございます。続きまして、3の医業外収益の関係でございますけれども、主なものは、

両市からの負担金交付金の関係でございますけれども、合計額は、10億1,540万円余となったものでございます。4の医業外費用につきましては、主なものは、支払利息と雑損失でございますけれども、合計額は、7億1,236万円余を計上いたしましたものでございます。医業外収支につきましては、3億304万円余の医業外利益を計上したところでございます。医業外利益と医業損失を合計いたしました経常収支の関係につきましては、8億909万円余の経常損失を計上したものでございます。5の特別損失につきましては、過年度分損益修正損でございます両市への返還金等9,801万円余を計上したところでございます。合計いたしまして、当年度純損失は、9億711万円余となったものでございます。前年度からの繰越欠損金が、11億8,293万円余ございましたことから、当年度の未処理欠損金は、20億9,005万円余となっているものでございます。

続きまして、6ページの剰余金計算書につきまして、説明をさせていただきます。まず、資本金の関係でございます。前年度末残高につきましては、3億5,207万円余でございます。当年度中に、両市からの出資金、7億4,424万9,000円を受け入れましたことから、当年度末残高につきましては、10億9,632万円余となったものでございます。また、剰余金につきましては、欠損金が生じているものでございますけれども、前年度末残高が11億8,293万円余の欠損金でございます。当年度の純損失が9億711万円余ございましたことから、年度末の未処理欠損金残高につきましては、20億9,005万円余となったものでございます。次に、平成26年度の掛川市・袋井市病院企業団病院事業欠損金処理計算書でございますけれども、当年度未処理欠損金、20億9,005万円余につきましては、翌年度に全額を繰り越しさせていただくものでございます。

次に、7ページ、8ページをお願いいたします。貸借対照表でございます。この貸借対照表につきましては、本年3月31日現在の財政状態を示すものでございます。まず資産の部でございますけれども、固定資産につきましては、196億3,758万円余となっております。投資の関係につきましては、1億9,845万円余となっております。固定資産の合計につきましては、198億3,604万円余となったものでございます。2の流動資産の関係につきましては、現金預金が577万円余となっておりますけれども、合計額が、23億504万円余となったものでございます。資産の合計につきましては、221億4,109万円余となっているものでございます。

続きまして、負債の部の関係でございますけれども、3の固定負債につきましては、企業債が主なものでございますけれども、引当金を合算いたしますと固定負債は、193億5,903万円余となったものでございます。流動負債につきましては、一時借入金が4億5,522万円余となっておりますけれども、総額では流動負債は、30億4,881万円余を計上いたしているところでございます。なお、負債勘定のうち、企業債、リース債務、未払金、引当金につきましては、平成27年度末ま

でに支払うものにつきましては流動負債に、それ以外のものにつきましては固定負債に分けて計上しております。繰延収益の関係につきましては、長期前受収益といたしまして、補助金で建設いたしました資産を償却年数に応じまして収益化いたしているものでございまして、残高につきましては、7億2,697万円余となったものでございます。ここまでの負債の合計につきましては、231億3,481万円余となっております。

次に、資本の部の関係でございますけれども、資本金につきましては、10億9,632万円余となっているものでございます。剰余金の関係につきましては、当年度未処理欠損金がございます。20億9,005万円余のマイナスということで計上されているところでございます。資本金と剰余金を合計いたしますと、資本の合計につきましては、9億9,372万円余のマイナスでございまして、債務超過の状態となっているものでございます。資本と負債の合計につきましては、221億4,109万円余となりまして、前ページの資産合計と合致をいたすものでございます。なお、9ページ以降の事業報告及び決算附属の関係書類につきましては、ご参照いただきたいと思います。

以上をもちまして、平成26年度病院事業会計決算についてのご説明とさせていただきます。よろしくご審議を賜り、ご認定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で説明が終わりました。

本決算について、監査委員から決算審査の意見書が提出されております。この際、審査につきまして、監査委員から説明を求めます。横山監査委員。

○監査委員（横山茂明） 掛川市代表監査委員の横山茂明でございます。

平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計の決算審査所見を申し上げます。掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算については、地方公営企業法第30条第2項の規定により、先般、掛川市・袋井市病院企業団の企業長から審査に付されましたので、事務局による予備調査を実施後、関係職員から説明を聴取し、原田監査委員とともに慎重に審査を実施いたしました。審査の結果は、お手元に配付いたしました、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算審査意見書のとおりであります。審査に付されました当年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、正確であると認められました。

まず、決算の概要について申し上げます。2ページをご覧ください。患者数の状況は、入院が15万5,011人、一日平均424.7人、外来が30万8,015人、一日平均1,262.4人となり、入院、外来と

もに、一日平均の患者数は、前年度を上回りました。

8ページをご覧ください。経営収支の状況では、医業収益は136億5,965万4,000円で、主なものとして、入院収益90億5,518万3,000円、外来収益37億216万7,000円となり、入院、外来ともに、前年度と比べ増加しました。これは、患者数の増加、診療報酬の引き上げ、前年度収益が11ヶ月であった等の理由によるものです。医業費用は147億7,179万6,000円で、前年度に比べ14億7,507万4,000円増加しました。これは、職員数増加による給与費の増加、医療機器等の保守料金の発生、患者数増加による薬品・診療材料費の増加等によるものです。これによりまして、本年度の医業収支は、11億1,214万2,000円の損失となりました。これに医業外収益、費用を加えた経常収支では、8億909万3,000円の損失計上となりました。なお、当年度純損失は、特別損失9,802万円を加え、9億711万3,000円となりました。

17ページをご覧ください。このキャッシュ・フロー計算書とは、純損益から資産の増減を反映させ、減価償却費など非資金項目を調整した実質資金収支を示したものであります。当年度の業務活動によるキャッシュ・フローは、4億6,284万8,000円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローは、1億4,097万8,000円のマイナス、また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、3億2,498万円のマイナスであり、これにより、現金等の期末残高は577万2,000円となりました。

最後に、審査所見について申し上げます。全国初の市立病院同士の統合と注目され、掛川、袋井両市民の期待を受けて開院いたしました中東遠総合医療センターは、今回2回目の決算を迎えました。2年を経過し、現在は概ね順調に運営されており、DPC病院の機能評価係数、日経ビジネスの病院経営力ランキングにおいて、共に良い結果を得られたことは、全職員の努力の賜として評価できます。患者数が大幅に増加し、病床利用率も前年度を上回り完全稼働の状態が続いていることから、経費削減はもとより医療事故等の未然防止のためにも、業務の効率化による時間外労働の抑制に努めてください。また、患者の一部負担金にかかる未収金の早期回収と発生防止、点検強化によるレセプト返戻の減少をはかり、安定経営に努めてください。医療機器等の購入については、企業債の償還額を上回ることをしないよう留意され、債務の低減に努めてください。当企業団は資本過小にて設立されたため、平成26年度末現在9億9,372万7,000円の債務超過となっております。収益確保等の自助努力をしつつ、長期的視野に立った安定経営を目指すために、両市に対し資本注入等の要請を検討され、中東遠地域の基幹病院として地域医療の牽引役を果たされることを期待します。

以上、掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計の審査所見の報告といたします。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、監査委員の説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 特にないようでありますので、質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより認第1号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり認定することに決しました。

○議長（竹嶋善彦） 日程第6、報告第1号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） 報告第1号、掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、平成26年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算に基づく資金不足比率を、監査委員の意見を付けて報告するものであります。平成26年度につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関す

る法律施行令第16条及び同法施行規則附則第3条により算定した結果、流動負債額が流動資産額を下回るため、資金不足額は生じません。したがって、資金不足比率も発生しません。以上、ご報告申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） 質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 特になさうでありますので、質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、本件の報告を終わります。

○議長（竹嶋善彦） 次に、議案第3号を議題といたします。

提案者より、提案理由の説明を求めます。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） ただいま上程されました、議案第3号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号について、ご説明申し上げます。

収益的収支につきましては、収入が464万2千円の増額、支出も464万2千円の増額をお願いするものでございます。収入といたしましては、前年度の繰入金の精算金として、特別利益464万円2千円の増額をするものでございます。支出といたしましては、前年度の繰入金の精算金として、特別損失464万円2千円の増額をするものでございます。資本的収支につきましては、収入が10億円の増額をお願いするもので、掛川市並びに袋井市からの出資金を10億円増額するものでございます。なお、補正後は、収入が支出を上回るため、資本的収支不足額は発生しないこととなります。

以上、議案第3号の提案理由説明とさせていただきます。詳細につきましては、経営管理部長から補足説明をさせていただきますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 次に、補足説明を求めます。久永経営管理部長。

○経営管理部長（久永豊彦） 私からは、議案第3号、平成27年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算第1号につきまして、補足説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、予算書の1ページをお開きいただきたいと思います。第2条の関係でございますけれども、収益的収入及び支出についてでございます。収入につきましては、病院事業収益を464万2,000円増額いたしまして、149億2,050万7,000円とするものでございます。内訳につきましては、特別利益を464万2,000円増といたしたものでございます。支出の関係につきましては、病院事業費用を収入と同額、増額いたしまして、合計159億6,772万2,000円とするものでございます。内訳は、特別損失464万2,000円でございます。

次に、第3条資本的収入でございます。資本的収入といたしまして10億円を増額し、合計20億3,008万2,000円とするものでございます。内訳につきましては、出資金10億円の増でございます。これによりまして、資本的収支不足額は発生をいたさないこととなります。

続きまして、補正予算の実施計画によりまして、ご説明させていただきます。2ページをお願いいたします。まず、収益的収入及び支出の関係でございますけれども、平成26年度決算に基づき両市繰出金の確定精算を行うものでございまして、管理運営に係る経費のうち利用者割に差異が生じたことから、両市の負担額の過不足額を、それぞれ特別利益と特別損失とに計上いたすものでございます。収入では、過年度損益修正益といたしまして、掛川市からの追加分を計上いたすもので、支出の関係では、過年度損益修正損といたしまして、同額を袋井市に返還をいたすものでございます。

次に、資本的収入についてでございます。他会計出資金といたしまして、先程ご認定をいただいております、平成26年度決算に伴います債務超過状態を解消するため、両市から合計で10億円の追加出資、財政支援を受けるものでございます。なお、両市の出資割合につきましては、管理運営に係る経費の負担割合が適用される予定でございます。

3ページをお願いいたします。予定キャッシュ・フローの計算書でございます。収益的収支の関係につきましては、補正が収入支出同額でございますことから、業務活動によるものの増減につきましてはございません。Ⅲの財務活動によるキャッシュ・フローの関係では、10億円の出資金が収入増となるものでございます。それに伴いまして、一時借入金関係で減額となるものでございまして、期末の資金残高見込といたしましては、4億7,037万4,000円となる見込みでございます。

次に、4、5ページをお願いいたしたいと思います。平成28年3月31日時点の予定貸借対照表でございます。10億円の追加出資を受けることに伴います主な変更点につきまして、ご説明をさせていただきますと思います。まず4ページの流動資産の関係でございますけれども、現金預金につきましては、残高が4億7,037万円となるものでございます。5ページの関係では、流動負債の部で、一時借入金が発生しないこととなるものでございます。資本金の関係では、10億円が追加されますことから、29億114万円余となるものでございます。

7ページ、8ページにつきましては、ご参照をいただきたいと思います。

以上をもちまして、平成27年度病院事業会計補正予算第1号の補足説明とさせていただきます。よろしくご審議のうえ、ご可決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（竹嶋善彦） 以上で説明が終わりました。

○議長（竹嶋善彦） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 質疑はないようですので、質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより討論に入ります。討論はありませんか。

【「なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） 討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（竹嶋善彦） これより議案第3号について、採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○議長（竹嶋善彦） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決することに決しま

した。

○議長（竹嶋善彦） 以上で、本日の日程全部を終了いたしました。

○議長（竹嶋善彦） 閉会にあたり、企業長よりごあいさつをお願いいたします。企業長、名倉英一君。

○企業長（名倉英一） 本日は、補正を認めていただきましてありがとうございます。

冒頭申し上げましたように、病院も3年目を迎えて少しずつ形ができて、病院の機能もより良くなってきていると思います。救急を中心に組み立ててきましたけれども、基本的な診療骨格を作るということが当面の目標で、今作り上げたものを、質を高めるということで、質は職員にとっては結構大変なことで、いろんな業務の流れや手順を全部見直しています。これは病院機能評価というものがありますので、それに合わせてやっておりますが、大変なストレスです。3年目でやるのかという話もありますが、2つの病院が一緒になるということは、例えばこの議会が一緒になった時もそうですが、いろいろな約束事を揃えなくてはいけない。そういうことで病院が統合する中での業務の一つの流れとして、大変時間をかけてやっています。病院の形を作って、次に何をやるかということのを来年以降考えていきたいと思っています。いずれにしても、事業体として独立採算でしっかりということが大事だと思いますが、それでは残念ながら自治体病院は不採算の部分がありますので、その分については基準内のものとして出していただいて、それを基に運営していきたいと思っています。

最終的には次の病院を建てることを考えても良いのかなと私は思っています。建物の建設費は（この病院を建てた当時から）倍になりました。この病院は140億円で建てましたけれども、今作れば同じものが200億円です。東京オリンピックの話もそうなんです。できるかどうかは分かりませんが、民間病院はすでにそうしていますので、今できるだけ貯めておいて、先先の目標としてはそういうところを考えていきたいと思っています。

今後も、議員の皆様のご理解とご支援が必要不可欠でありますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。本日はご審議いただきありがとうございます。

○議長（竹嶋善彦） これにて、平成27年第2回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会を閉会いたします。みなさまのご協力に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

午後 4 時 3 8 分 閉会

[署名]

以上、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 27 年 10 月 30 日

掛川市・袋井市病院企業団議会議長

竹 嶋 善 彦

[署名議員]

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

堀 内 武 治

掛川市・袋井市病院企業団議会議員

鈴 木 弘 睦